

平成28年 1月 6日
四国地方整備局

秋期抜き打ち工事安全パトロールについて ～四国地方整備局(港湾空港関係)の現場で実施～

- 四国地方整備局(港湾空港関係)では、各港毎に発注者・受注者等で組織された「〇〇港工事安全連絡協議会」等を設置し毎月の安全パトロール等を行っています。また、従来から事故の発生確率が高かった7月と2月に「工事安全強化期間」を設定し、本局・事務所・受注者・工事安全に関する団体・労働基準監督署などと合同で安全パトロールを行っていましたが、平成24年度・25年度と連続して、多くの工事事故が発生したことから、前記の「工事安全強化期間」に加え平成25年10月から秋期安全パトロールを抜き打ち(工事の受注者に事前連絡なしに現場へ臨場)で行っており、今年で3年目となります。
- 今年度は期間中に工事を実施している宿毛湾港(ケーソン製作)・須崎港(被覆ブロック製作)・高知港(消波ブロック製作)・徳島小松島港(ケーソン製作)・撫養港海岸(地盤改良)・高知空港(地下道耐震補強)・須崎港(被覆ブロック製作)・高松空港(歩道ルーフ)の各現場(本局2名、事務所1名～3名)で行いました。
- 須崎港の安全パトロールの際には、本局・事務所職員へのアドバイスを目的に、試行として「四国地方防災エキスパート(港湾・空港)※」へ協力依頼し、派遣された2名とともにパトロールを行いました。
- 抜き打ちパトロールを開始した10月には、熱中症が気になる時期でしたが、11月下旬には、朝・夕の冷え込みが気になる頃となりました。今年度、管内の工事現場で最後まで事故「0」を継続して工事が完成できるようにあらゆる機会を通じて、安全対策に取り組んで参ります。

(※) 四国地方防災エキスパート(港湾・空港)

港湾・空港施設等の整備・管理等についての専門的ノウハウを持ち、大規模災害発生時に港湾・空港施設等の被災情報の迅速な収集等の支援活動を、自主的かつ無報酬で行う者として登録した者

〇問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 電話番号 (087) 811-8332 (直通)
(担当) 品質検査官 山本 幹夫 (内線 6382)
港湾空港整備・補償課 安全企画係長 村井 克行 (内線 6526)

現場パトロールの実施状況



宿毛湾港 10/20



高知空港 11/10



須崎港 11/11



徳島小松島港 11/12



高知港 11/19



高松空港 11/20



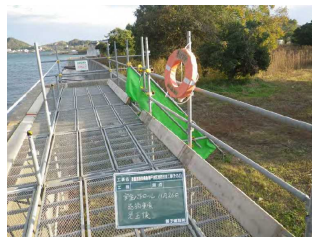
撫養港海岸 11/26



防災エキスパートからのアドバイス
 ・過去の事故事例を重点的に確認するなど、目的をもって現場パトロールを行うのが良い。



クレーンオペレーターと合図者が直接見えにくい位置で合図を行っていたので、その旨指摘し、無線機を使用して合図を行う方法に是正された。



海面に面した足場上に救命浮環が設置されていなかったことから、その旨指摘し、3箇所救命浮環が設置された。

指摘意見への是正事例